

「子供が“セルフケア力”をつける意味

～慢性疾病の自己管理を考える～

・思春期、青年期の「移行期医療」とは・・・

・子供のセルフケア力を高めるには・・・

・慢性疾病をもつ子供にとっての学校生活とは・・・

【内容】 幼い頃から疾病を抱えていた場合、長期の治療や療養が必要な場合等のような状況においても、お子さんは「育つ力」をもち、成長していきます。

今回は、子供のセルフケア力に焦点をあて、医療機関としてできること、学校生活との関連等々、お子さん自身の「育つ力」が発揮できるようにするためには、何が必要なのか・・・、参加する皆様と一緒に考えてみたいと思います。

【対象者】 都内在住 小児慢性特定疾病のお子さんと保護者
都内医療機関・行政等地域関係機関職員

【参加人数】 100名 【参加費】 無料

【日時・プログラム】 平成29年12月10日（日曜日） 午後2時から午後4時まで

13:30 受付	テーマ	講師
14:00～	<u>専門医療機関の立場から</u> ・思春期、青年期の「移行期医療」とは ・ご両親から本人の健康管理へ ・看護外来の役割	東京都立小児総合医療センター 本田 雅敬 院長 (専門分野：小児腎臓病、小児透析、膠原病) 井上 三奈枝 外来看護師
	<u>特別支援学校コーディネーターの立場から</u> ・慢性疾病をもつ子供にとっての学校生活とは ・子供のセルフケア力を高めるには	都立武蔵台学園 府中分教室 わかば学級コーディネーター 古畑 晴美 主任教諭
～16:00	<u>質疑応答・意見交換・交流</u>	

【申込先・申込方法】 お子さんと保護者の方は、電話にて申込みください 関係機関職員は下記FAX
東京都小児慢性特定疾病児童等自立支援事業自立支援員（認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク）
電話番号：03-6801-6330 月曜日から金曜日まで 午前10時から午後6時まで

【申込期限】 平成29年12月4日（月曜日） ※申込み多数の場合はお断りする場合があります

【開催場所】 東京都立小児総合医療センター1階講堂（フォレスト） 府中市武蔵台2-8-29



【会場アクセス】

JR中央線西国分寺駅からバス5分「総合医療センター」下車
※アクセスは複数あります 医療センターHPにてご確認ください

【担当及び問合せ先・関係機関の申込先】

東京都福祉保健局少子社会対策部家庭支援課
担当：楠・菅原（美） 電話 03-5320-4368（直通）
FAX 03-5388-1406

主 催：東京都福祉保健局少子社会対策部家庭支援課

委託先：認定NPO 法人難病のこども支援全国ネットワーク

共 催：東京都立小児総合医療センター